

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		SNSによる多言語観光情報発信					所管	文化産業観光部 観光課
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	36	計画事業名	台東区観光ウェブサイト			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] I-2. まちの魅力の創出 [小 柱] (1)観光資源の再発見と活用の推進 [施策] ②観光案内と情報発信の充実						
	根拠法令等	その他	[法令等名]	なし				
	事業対象	外国人観光客を含めた観光客						
	事業目的	対象国のターゲットに親和性かつ即時性が高い情報発信による誘客促進						
	事業内容	コミュニケーションツールであるSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を活用し、即時性の高い観光情報を発信する。また、言語は英語・中国語(繁体)・韓国語・タイ語・インドネシア語の5言語で行い、各ネイティブスタッフの目線による魅力的な観光情報を取材し発信する。						
	委託の有無	一部委託	委託内容	ネイティブスタッフによる取材、記事の作成及び発信、広告掲載、キャンペーン				
	補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	記事発信回数	回	624	-	462	579	
	成果指標	ファン数	人	87,900	-	7,853	40,584	
	決算額 (単位:千円)				-	4,407	6,523	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			-	2,406	6,242	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			-	4,407	6,523	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			-	0	0	
		総経費			-	6,813	12,765	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			-	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			-	4,407	0	
一般財源(区負担額)			-	2,406	12,765			
前回評価から改善した事項	タイ語とインドネシア語アカウントを新しく開設し、平成28年8月より3言語から5言語体制に充実させたことで、より多くのFacebookユーザーに対し観光情報の配信が開始できた。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)は外国人観光客の情報収集の手段として広く活用されている。また、情報の即時性が高く、災害等の緊急情報の発信ができる体制を築いている。					
	効率性	3	アカウントのファンに対し直接最新の情報を届けることができ、質問に対しても回答ができるのでユーザーの求めに応じた情報を迅速に配信している。					
	手段の適切性	3	世界各国で広く様々なSNSが使用されているが、Facebookが最もユーザー数が多い。季節のイベントが多い台東区としては随時、即時性の高い情報が発信できるFacebookが手段として適切である。					
目的達成度	3	全てのアカウントにおいてファン数は増加を続けており、特に28年に開設したタイ語・インドネシア語アカウントはいずれも年度末時点で1万人を超えるファンを獲得している。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
対象国毎の言語で直接海外のユーザーに情報を発信することができている。またムスリム受入促進事業をイスラム教徒の多いインドネシア語で紹介したり、海外のテレビ取材の様子を放送国の母国語で配信するなど、他事業の取り組みを効果的に配信し、誘客促進に寄与している。						維持		